

## WB実修所への参加にあたって(ベンチャースカウト課程)

青森県連盟指導者養成委員会

ウッドバッジ実修所は隊指導者訓練の上級訓練として位置づけられ、ウッドバッジ研修所を修了し最低1年間のプログラム展開を経験した隊指導者を対象とし、「プログラム推進能力の向上」に特化した訓練が実施されます。

また、ウッドバッジ実修所は

第1教程：課題研究～部門別に設定された課題に取り組む

第2教程：基本訓練～部門別の集合訓練・4泊5日の野営

第3教程：実務訓練～自隊で取り組んだ結果を報告する

により構成されますが、第2教程では、スカウティングの本質の理解を高めるために高度の班野営を体験することから、第2教程へ進むためにはスキルトレーニングを修了することが必須となっています。

ベンチャースカウト隊の隊長としてのプログラム推進能力向上を目的とするこの訓練は、ベンチャースカウトの訓育に責任を持つ隊長の皆様には、本来あるべき姿のスカウティングについて理解を深め、自隊のスカウトに良質のプログラムを提供していくために、是非参加していただきたいものです。

また、すべての教程やスキルトレーニング等においてトレーナーが直接支援しますので、まずは団委員長へ参加の意思表示をしてください。

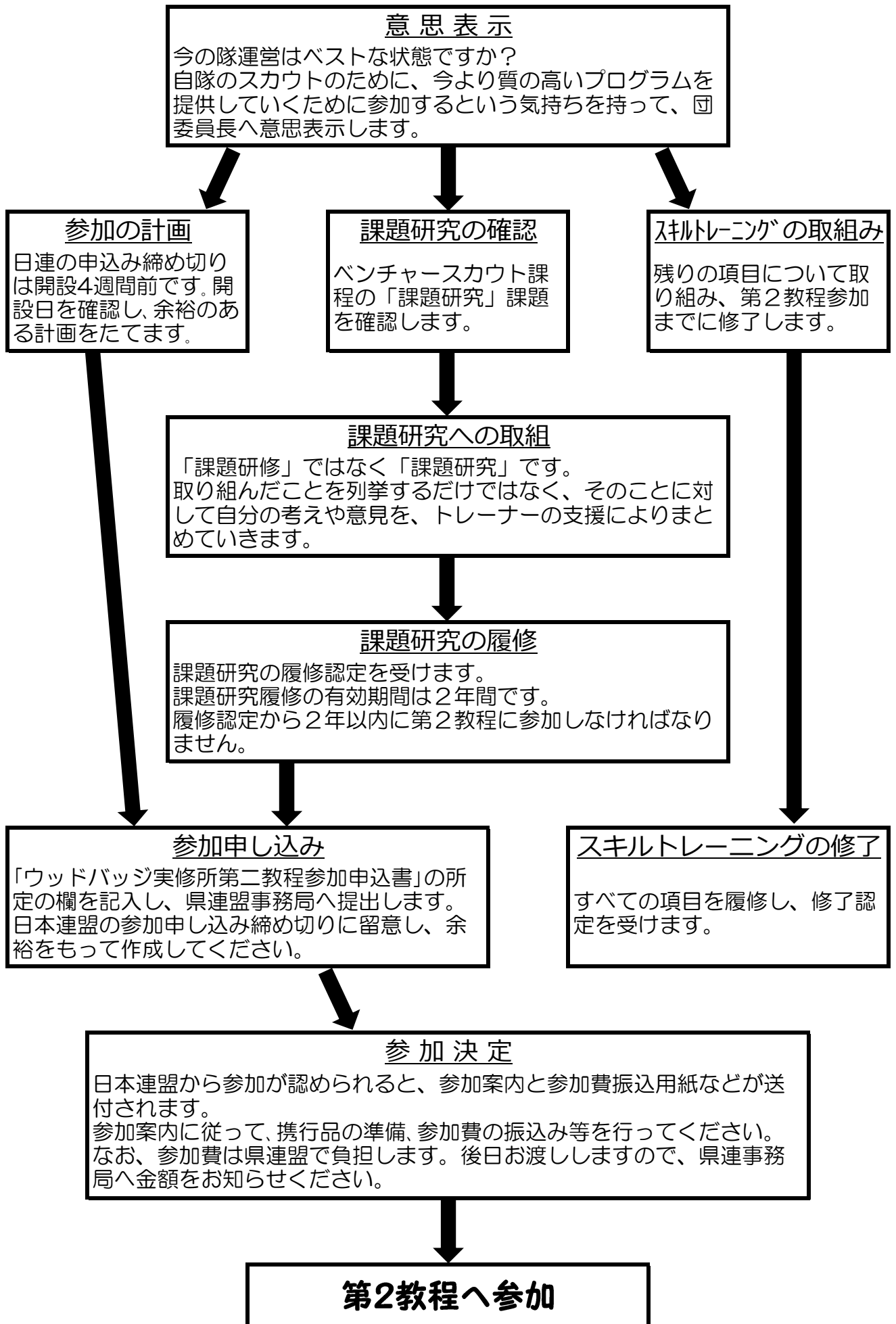
### 団委員長へのお願い

課題研究やスキルトレーニングの履修にはある程度の日数を要します。

またすべてトレーナーの支援により進めていきますので、参加の意思を確認した後、できるだけ早い時期にトレーナーまたはコミッショナーへご連絡ください。

第3教程の取り組みについては第2教程の中で説明されるので、ここでは、第1教程・第2教程について説明します。

まず、第2教程へと至る流れについて説明します。



次に、課題研究への取組について説明します。

第2教程は、自隊の課題、問題点の改善や解決を図り、自隊の隊運営、特にプログラムプロセスに反映させることに意義があり、自身が所属している部門の実修所へ参加することを前提としています。

また、第2教程で効率の良い学習をおこなうため、以下により事前に課題研究に取り組んでいただきます。

課題研究の履修は、トレーナーが認定します。

**課題1 スカウトのニーズにより作成された隊集会、またはプロジェクトの計画書作成までの間において、隊長として留意し、指導した点を記述してください。**

- (1) 課題1では、隊集会とプロジェクト、どちらでもかまいませんが、この計画にあたり、あなたはどのような点をどのように指導をしたのか、またなぜそのように指導したのかについて記述してください。
- (2) 当該隊集会計画書、またはプロジェクト計画書を添付してください。

**課題2 ベンチャースカウト年代の特性を理解し、自治の活動により個人の成長を図るために、隊長の役割を果たす上で資質を向上するための自己研修をおこない、その内容・結果をまとめてください。**

- (1) 自治の活動が中心となるスカウト達に接するためには、スカウトが求めるものを提供するために必要な知識や技能、スカウトのニーズを発展させていくためのコミュニケーション技能など、様々なスキルが必要となってきます。
- (2) 課題2では、あなたが隊長としての役割を果たすうえで、今現在持ち合わせていないスキルや、不足しているスキルなどについて確認し、それらを習得するための自己研修を実施し、その結果をまとめます。
- (3) 自己研修の方法は、一般の各種セミナーへの参加、参考書籍の熟読、先輩指導者からの指導などが考えられます。研修しようとする内容やあなたを取り巻く環境によって、適切な方法を選択してください。
- (4) 記述にあたっては、次の表を参考に、
  - ① スカウトが求めた知識や技能

- ② 隊長として自分に必要だと考えた知識や技能
- ③ それらを習得するために実施した研修の内容と結果

に分けて一覧にしてください。

	知識・技能の内容	研修内容と結果
スカウトが求めたもの		
自分に必要と思うもの		

**課題3 隊における役割（議長、グループのチーフ、記録、会計等）を遂行するために必要な、スカウトに対する訓練をまとめてください。**

- (1) ベンチャースカウト活動は自治の活動です。スカウトそれぞれが自分の役割に責任を持って活動に参画するために、隊長は個々のスカウトが役割を果たすことができるように指導や助言をしていかななくてはなりません。
- (2) 課題3では、そのためにあなたが隊長としてスカウトをどのように訓練していくかを考えます。
- (3) 次の例を参考に、隊でのスカウトの役割ごとに、あなたはスカウトにどんなことを身に付けてほしいと考えるのか、その内容を一覧にしてください。

隊でのスカウトの役割	身に付けてほしい内容
議長	コミュニケーションスキル リーダーシップ
グループのチーフ	

**課題4** ① 団会議、団委員会の機能と役割を記述してください。  
 ② 課題1の隊集会を実施するために、団委員会やその他からどのような支援が必要か、どのように協働するか等について具体的に記述して

ください。

- (1) 課題4では、スカウトにより良い活動を提供するために、自分は、団からどのように、またはどのような支援を受けることができるのかを具体的に考えます。そのために、団会議、団委員会の機能と役割を理解します。
- (2) ①は、団会議と団委員会の機能と役割をそれぞれ列挙してください。機能と役割については、「団の運営と団委員会」で詳しく説明しています。
- (3) ②は、課題1の隊集会またはプロジェクトを実施するために必要と思われる支援を項目立てし、誰から支援を受けるのかを項目ごとに記載してください。  
ここでの「誰」は、団関係者のみならず、県連や地区、また地域社会や個人・団体など、あなたや団を取り巻く環境を思い起こし、幅広い視野により考えてください。

**課題5 ベンチャー隊の活動におけるプロジェクトとは何か、あなたの考えをまとめてください。**

- (1) ベンチャースカウトの活動には、隊集会とプロジェクトがあり、それぞれ違ったプログラムプロセスを持ちます。  
課題5では、「隊集会≠プロジェクト」を念頭に置いて、スカウトがプロジェクトを遂行していくことにはどのような意味があるのかを今一度考えてみます。
- (2) 様式はありませんが、あなたの考えをできるだけ詳しく記述してください。また、プロジェクトの遂行によって「スカウトにはこんなふうに育て欲しい」というあなたの思いを加味させて、自由に記述してください。

**課題6 プログラム作成において、自身が解決したい問題について列挙してください。**

- (1) 課題6では、活動プログラムの作成を支援する際において、自分自身に不足していることやもっと知りたいことなどを、知識・技能・心構えに分け、第2教程におけるあなたのニーズを明確にします。
- (2) これらのニーズを  
**知識…… ○○のために○○を理解したい。**  
**技能…… ○○のために○○を身に付けたい。**  
**心構え… ○○のために○○を知りたい。**  
といった書き方で、箇条書きで記述してください。

## 「課題研究」の提出方法

- A4判の用紙に横書きで課題毎に記述し、左綴じとしてください。
- 「ウッドバッジ実修所第一教程（課題研究）」に必要な事項を記載し、表紙として下さい。
- 「ウッドバッジ実修所第一教程（課題研究）」には、課題ごとに指導をして下さったトレーナーの役務とお名前、指導・助言の内容を記入しますが、書いていただいても、自分で書いてもどちらでもかまいませんので、担当トレーナーにご相談ください。
- 課題研究の認定はトレーナーです。認定トレーナーの欄に署名をいただくとともに、課題研究と一緒に必ず指導者手帳を提出してください。
- 第2教程の参加申込にあたっては「ウッドバッジ実修所第二教程参加申込書」をその上に付けてください。第2教程の参加申込時には指導者手帳は提出する必要はありません。

各書類の様式は、日本連盟HPの「加盟員情報」→「ダウンロード」→「指導者訓練」のページから最新のものをダウンロードしてください。